

女性の声を 県政へ

森川ヤスエの歩み



日本共産党

ランプの灯りと ローソクで学ぶ

私が育った島では中学校二年生の時、夕方六時から十一時までの限定で電気がつきました。

当然、炊飯器、洗濯機、冷蔵庫、テレビ、室内の電灯もなく、まきとランプの生活です。ランプの灯りとローソクで学びました。

村にはまだ村立図書館もなく、読める本は学校文庫の配本が頼りです。

子どもたちはほとんど、

一家の働き手として役割があるので家庭学習の時間はほとんどなかったです。

高校入学後、本島と学習環境が大きく違う貧しい田舎育ちを実感しました。

島の人びとは働き者なのに経済的に高校へ子どもを行かせてあげられなかったのです。

教育に憲法が真に生かされていないことを実感です。

三重県も離島が多いところですが、教育の機会均等、教育は無償を明確にした憲法の理念を生かした県教育行政をと、県議会でも活動したいと強く思います。

住み慣れた地域で

平和に暮せるように

子どものころの暮らしから、高齢者を大切にできる政治をと、若いころからいつも願っていて、老人医療が無料になった時には島の祖母たちを思い小躍りしました。

介護保険が使いやすいように、地域医療の充実、交通網の整備など県議会での議論の必要性を実感しています。

知ることと戦争を

憎むようになった

平穏な暮らしに基地もなく、軍人が一人もない島ですが、誤報で米軍艦が押し寄せ、上陸し、島民の家をつぶし砲撃を繰り返した多くの村民が死んだということを知りました。



高校生のころ学校近くに米軍機が落ち、学校で抗議集会が開かれました。そして、「遺憾に思う、自粛する」の回答に高校生ながら納得できないでいました。

戦争の愚かさ、軍隊の横暴さを知っていく、暮らしがあったのです。

米軍基地がある限り続けるこの事件、平和を築きたいと本気で思い始めました。



なぜ 共産党員なの？

沖縄生まれで、「命どう宝」

「イチチャリバチョウデー」

（命が一番、人はみな仲良く）
の精神を大切にする社会の中で育ちました。

この心は日本国憲法の平和主義・基本的人権に通じると思っています。

また二十歳の息子を戦争でなくしながら、遺骨の届かない悲しみを抱いて百歳の天寿を全うした祖母を見て育ちました。

そのこともあって私は、戦争につながるものは一切受け入れることができないのです。ですから戦争放棄をうたった平和憲法が大好きです。

平和への思い強く、社会の仕組みを学んで、戦争も貧困も政治が良くなればなくせることを知りました。学びの中

で、戦争に反対し続け（今年で96年）、国民の苦難軽減を立党の精神とする日本共産党を知り、25歳で日本共産党員になりました。

学びの場で知り合った夫が三重県人だったこともあって、結婚し鈴鹿市にすむようになりました。



日大通信部の合宿学習会。
2列目左から2人目が森川



労働学校の仲間と若草山に。
後列右から2人目が森川

活動の中から 市議会へ

核兵器をなくす運動、食生活

の安全を守る生協発足の活動、鈴鹿市で男女賃金差別裁判をたたかった元市職員「山本和子さん」を励ます会の事務局活動、子ども医療費を含む3公費補助の拡大や窓口無料化、学童保育所開設運動、台成洗剤から河川を守る取り組み、青少年に有害な雑誌の自販機の撤去要請活動、中学校給食実現運動、ボートピア建設反対活動など、生活の中で多くの市民のみなさんともに行動してきました。

生活者目線で声をあげる女性の議員をと願う、みなさんのご支援を受けて市議会に送っていただきました。

初挑戦では10票足りず次点でしたが、選挙違反で辞職した方の代わりに繰り上げ当選

しました。
「辛うじて頂いた幸運な議席」と感激し、それに恥じない活動をしなればとの思いを強く持ちました。

生活者の目線、台所の声を市政へ、女性が安心して働き続けられるように、子育て支援、教育、医療・福祉など「子どもは宝・高齢者は社会の功労者」の立場で意識的に取り上げてきました。



平和への

思い強く

子どもたちを連れて広島へ行ったり、子どもをおんぶしながら駅頭で毎月6日9日には「核廃絶署名活動」を家族で2年間続けました。

その活動は原水協の活動として続け、40年近く続けます。

さらに「九条の会すずか」発足に参加し、以後世話人活動。秘密保護法をなくす市民の会の皆さまとも協力し、3000万人署名活動にも加わりながら、一つ一つ平和を守る活動を行っています。



共産党員として

活動できる幸せ

災害から学ぶ

日本共産党はいつでも国民の苦難軽減の立場で、ボランティアも全力。現地に対策本部を設置して救援活動は何年にも及びます。議員であつても一般党員であつても災害現場へのボランティアで参加して、現地から学びます。

被災者をいつまでも仮設暮らしをさせる政治は間違っていると思います。

ボランティア活動経験の中で、強く思ったことは、住む家を失って途方に暮れたみなさんに公営住宅の提供や、住宅再建への補助制度を充実するなど明日への希望を届ける政治が一番大事だということ。軍備を増強している場合ではないということ。オスプレイ一機百億円で公営住宅は十分

建てられる。

軍事費削って、暮らし優先、福祉や教育などの充実を訴える日本共産党の政策は、皆さんにぜひ応援してほしいと強く願っています。

鈴鹿市が女川町の子どもたちを招待した時、ホームステイ先を希望し、母一人子一人のお母さんをなくした中学生を含む二人を預かって、今もお付き合いを続けています。

特に、母子家庭で母親を失い近くの祖母に引き取られたお子さんが、高校を卒業してもなお仮設住宅住まい、その間、集中豪雨で仮設が浸水し、仮設から仮設へと引っ越しもしたそうです。2年前にやっと仮設から引っ越されたそうです。



東日本大震災時は石田議員と約一週間出かけ、毎日イチゴ農家の畑とカーネーションハウスの泥だし作業

ジャンルを問わず 相談が入ります。

税の滞納による納付相談、多重債務、離婚、介護の相談、DV、ネグレクト、浸水被害、低周波被害、防災認定、通学路の安全対策、信号機の設置、用水のガード柵、差押、学校介助員の処遇、社会福祉会館のお風呂の改善、住まいの確保、生活保護申請、市職員とのトラブルなど、いろいろ。

専門の方々のご支援で、皆さまに寄りそう生活相談活動は、市民の苦難軽減を直接お手伝いできる仕事。

日本共産党員として活動でき、幸甚を感ずる。

相談者から協力者へ

議員になる前の活動で舞い込んだ初めての相談は、一人暮らしの老婦人のお隣さんと

の境界問題でした。

そのつながりで、老婦人が古い借家をもっていたこともあって、私の生活相談活動の中で、住まいをもたない方が生活保護を受けるに必要な住まいとして保護基準の範囲で貸して下さって、相談者の自立応援を助けていただきました。たくさんの方がその借家を一時的な住まいにして、生活を立て直し、借家を出られました。お亡くなりになるまでの15年ほどのお付き合いでした。



1 日派遣村

私を探し当てて

老婦人の借家を最初に貸していたいただいた方は、父親が朝鮮籍の親子3人。

日曜日の夜、電話をいただき、「明日寮を追い出されると行くところがない」結構苦労して私のところにたどり着いたそうです。

月曜日に、早速住宅を貸していただく手はずを整えて、親子と生活保護の申請に同行して、老夫婦の借家にすんでもらってやれやれ。

次の日、救急車で運ばれて入院したと連絡を受けて病院へ行くと、内臓破裂寸前。間一髪で助かった。子ども二人は児童相談所に預かってもらってまずは一件落着。

素敵なお寺の

住職との出会い

母子家庭の母親がんで死

亡し、20才と高校3年生の兄弟だけが残った家族。

まず葬儀をするにもお寺も、お坊さんも探せずいたら、あまりお布施を出せずとも見送っていただけるお寺を紹介いただいた。早速お願いにあがると、快く引き受けて下さって、吊ってくださった。子どもたちが包んだお布施を、そーっと香典にして戻していただいた事に涙が出ました。

弟は無事卒業を迎え大手企業に就職し、結婚して娘さんが生まれたと年賀も届きました。

その住職さんは、私が相談を受けた困窮家庭の葬儀で会えることもあり、今もつながっています。



娘が大きく

なりました

妊婦さんが健診を受けられず、もうすぐ臨月と、心配した四日市にお住いのお母さんから相談を受けた。

訪ねると国民健康保険を滞納して保険証がない。保険証発行の手立てを取って、病院に行ってもらおうと8か月だったという。仕事もできなくなつて、生活の安定のためにまず、保護申請をして出産、育児の環境を整えた。

数年前に尋ねたらあの子は今高校生ですと報告を受けた。

信号が見えない。

横断は隣の人の

気配で渡る。

国民年金暮らしのAさんご夫婦。お話を伺うと白内障であまりものが見えないので信号の色がはっきりわからず外

出は怖い、信号の交差点を横断するときは人の気配で横断しているとおっしゃる。白内障の手術が必要だが病院へ行くお金が出ないという。

いろいろ調べて手続きを踏んで病院へお連れし、白内障の手術をしていただいた。

その後良く見えるようになったと感謝された。お二人とも高齢だったこともあって今はもういません。

妻が大事故にあった

妻が重大事故にあった。危ないところに信号機の設置を要望したい。どうすれば付くか？相談で入った店は、「女性は太陽」をいつも読んでいるとうかがいました。話し合いならいつでもこの店どうぞと、喫茶店のママさんのご好意で、打合せ場所に何度か使わせていただいた。

翌年、信号機がついて喜んでいただきました。

生活自立支援の

難しさを学ぶ

多重債務の相談は、司法書士さんの支援を沢山いただいた。しかし一度の精算で立ち直ってもらえないことが多いです。派遣村のような支援は、一次的に立ち直ってくれたかのように見えてなかなかうまくいきません。

相談者が離れていった

労災認定や、低周波問題は因果関係が難しく、最後までお手伝いができず、相談者が離れて行ってしまいました。お元気でお願いします。も気にかかっています。

土砂降りの雨のなか

自転車を訪ねて

四日市の会議から戻ると、玄関に年配の女性が合羽を着て立っていました。

お話をうかがうと、一人暮らしの弟さんが、がんという大病が見つかり急に手術が必要になり病院に入院しているが、弟さんの手術代を出すほど裕福ではないし、無一文に近い弟を助けてくださいと。遠いところから自転車で、

土砂降りの雨のなか訪ねてきた理由がわかり、早速いろいろな手続きを始め、入院助成で最低限の医療費をおさまり、無事安らかに見送ることができたと大変喜んでくださった。

それ以来その女性はとても熱心に応援をして下さり、お札にと見事な手作りのカバンをくださって、お亡くなりになっても遺族の方が、森川さんにこそ使ってほしいと、パッチワークの旅かばんを届けてくださった。



議会活動

24年のあゆみ

子どもの育ち 未来への希望

どの子も健やかに育って、未来へ羽ばたいてほしいと願って、子育て支援・学校教育の充実を取り上げてきました。

子どもたちが気持ちよく過ごせる環境づくりは「大人の真心」を子どもたちに届ける仕事と思っています。

子育て支援

- ・保育所の白アリ対策を
- ・老朽保育所の建て替え提案
- ・子どものワクチン費用の助成
- ・インフルエンザ予防接種への補助の拡大充実を
- ・通学路の安全歩道の確保と段差解消
- ・安全帯表示の設置を進める

事

- ・中高生の居場所づくり
- ・5歳児検診実施
- ・子どもへの国保資格証の廃止
- ・低所得層の子どもサポートセンター利用補助
- ・育休中の保育の改善
- ・勤労青少年ホームの子育て支援施設への改善（子育て応援館として利用）
- ・子ども医療費無償化・窓口無料化
- ・児童公園の遊具の改善（階段が広すぎて小さい子は落ちてしまう）
- ・信号機設置
- ・転落防止策設置
- ・歩道のない道路にグリーン帯設置
- ・就学援助費の三月支払い



学校教育の充実

- ・老朽化した学校体育館の建て替え
- ・中学校給食の実現
- ・小中学校普通教室への空調機設置（エアコン設置）
- ・学校トイレの改善
- ・学校図書館の充実（司書、蔵書）
- ・学校の老朽化対策
- ・30人学級の実施を
- ・特別支援員の配置
- ・スクールカウンセラーの配置を
- ・不就学児への対応
- ・授業時間数ゼロ、同和推進教員の見直しを
- ・同和教育を廃止し、マンモス校へ教員の加配を
- ・障がいのある子どもたちの学習権の保障を。FM補聴器、拡大教科書などの学習機材への支援を



庁舎暑さ対策扇風機



須賀公園滑り台



通学路

高齢者は 社会の功労者

高齢者は、今ある社会を築いてきた社会の功労者です。老後を豊かに安心して過ごせるようにと願って議会活動に取り組んできました。

福祉施策

- ・ 中勢病院跡地を買い上げて市民のための施設を
- ・ 介護保険事業の単独実施を人間ドック、脳ドック健診を市独自で
- ・ 介護認定者の障がい者控除適用と個別通知
- ・ 減収による国保税減額制度創設
- ・ 国保税引き下げ
- ・ オムツ支給は在宅、病院入院を問わず支給を
- ・ 福祉タクシーを制度化せよ
- ・ 介護保険料賦課基準見直しによる引き下げ

- ・ 地域包括センターの人員増やセンターの増設
- ・ 理美容。布団丸洗いサービス、オムツ支給の改善

だれもが普通に 安心して 暮らせるように

- ・ 障がい者タクシー券利用改善
- ・ 療育センターの改善
- ・ 重度障がい者用デイサービスセンターの建設を
- ・ 公営住宅にエレベーター設置と車いす対応住宅を
- ・ 学校にもエレベーターの設置を
- ・ 借り上げ住宅や家賃補助制度の創設を



生活環境・安心安全

- ・ 災害時の福祉避難所
- ・ 情報伝達方法
- ・ 各戸へ受信機ラジオの配布を
- ・ ごみ収集体制の改善、生ごみ堆肥化の提案
- ・ 下水道宅内工事への助成
- ・ 庁舎の暑さ対策
- ・ ボールの声がうるさいと使用禁止のテニスコートの再開、
- ・ 南長太排水ポンプ場の改善
- ・ 排水路、側溝の改善
- ・ 四日市市との合併に反対、庁舎を計画通り建設を
- ・ 三重県解放保育研究会への不正常な職員派遣をやめて引き上げよ
- ・ 戦争遺跡の保存
- ・ 長良川導水事業の見直し



男女平等 女性の地位向上に 取組んで

やつと女性の

部長さん誕生

議員になって鈴鹿市の管理職に占める女性の割合が低いこと、女性は定年まで働いても部長にたどり着けない登用の仕組み、「管理職登用の入り口で男女に大きな年齢の開きがある」問題を質し、現在は女性部長も誕生するようになっています。

女性が圧倒的に多い嘱託職員の出遇改善、女性センターを鈴鹿市にと女性団体や個人のみなさんと訴え、ジェフリー建設にも意見を述べてきました。女性議員らしい活動ができたとうれしく思っています。



市民とつながる
大切な便り

「女性は太陽」発行
配布と住民懇談会

市政だより「女性は太陽」を発行し、いち早くホームペーを開設して、市民の皆さんへの報告も心掛けてきました。時々住民懇談会や学習会などで、報告も行います。

生活相談は「女性は太陽」を見て、相談の電話をいただくことがほとんどです。

中でも忘れられないことは駅頭で配った「女性は太陽」を受け取ったブラジル帰国者の年配の女性が、連絡先を切

り取って名刺の様に財布に入
れておられたこと。
年齢だからと仕事の更新を
しないとされた時、切りとつ
た名刺のようなニュースの切
れ端を握って、市役所へ私を
尋ねてこられた。手に握られ
た「女性は太陽」の連絡先を
見た時は、本当にうれしかっ
た。会社と労働保険の事等を
交渉して、雇用保険が受けら
れるようにして、生活再建を
してもらいました。



毎月発行する「女性には太陽」



諸中学校にエアコンが付きました



中学校給食試食

生活相談など、
お気軽にご連絡下さい。

森川ヤスエ 事務所

鈴鹿市矢橋 3 丁目 10-34

TEL 384-3740

FAX 384-2907

ホームページ

<http://blog.ymorikawa.net/>